



2020年10月13日

**弊社、技能実習生及び特定技能者の出入国スケジュールに関するアンケート調査のご協力について**

拝啓 秋冷の候、貴社におかれましては益々ご健勝のことと、お慶び申し上げます。

世界規模で今もなお猛威を振るうコロナウイルスによる影響で、国内ロックダウン、日本への出入国制限等で各企業様及び監理団体様の皆様におかれましてはご多忙とは存じますが、出入国スケジュールに関するアンケート調査にご協力いただけますようお願い申し上げます。

さて、現時点ではフィリピン国は日本国内への出入国緩和候補国として候補に挙がっていない状況ではございますが、10月9日時点で日本大使館内ビザ発給申請窓口が再開されたことにより、入国及び再入国が一定の条件はございますが可能となりました。

弊社では、対象となる技能実習生及び特定技能者が数百名待機をしている状況となりますが、新規感染予防、感染症対策に十分配慮した上でPCR検査等のスケジュールを調整し、出入国手続きを進めていくこととなりました。

また、入国後に関しましては日本国内ガイドライン（外国人レジデンストラック）に基づいた手続き及び待機方法などを参考にさせていただく必要がございます。

つきましては、「出入国スケジュールに関するアンケート調査」を実施させていただき、監理団体様及び企業様の希望に沿えるよう出入国スケジュールを調整させて頂きたく思っておりますので、大変お忙しい中恐縮ではございますが、期限までにご回答をお願い致します。

敬具

## ～各行政機関の稼働状況～

### 【国際郵便物関係】

EMS に関しましては、通常配送とされていますが通常よりも 1～2 週間ほど日数が掛かっております。FedEx に関しましては、一時的に通常配送（エコノミーサービス）は受け付けていない状況となりますが、上位のサービスで配送は可能となっておりますので「在留資格認定証明書」等は FedEx にて送付して頂けますようお願い致します。

### 【日本大使館】

ビザ申請窓口が再開されたことにより、本人からの委任状を元に弊社送り出し機関にて申請が可能となりました。

### 【POEA（フィリピン労働雇用省）】

現在は、1 日の入場人数制限に加え、相談窓口、申請窓口を縮小して再開しております。申請受付は、1 日に 20 社まで、1 社 2 件までとなっております。

海外雇用許可書（OEC：Overseas Employment Certificate）に関しましては、送り出し機関を通じてオンライン申請が可能となっております。

### 【海外労働者福祉庁（OWWA：Overseas Workers Welfare Administration）】

OWWA が実施する「出国前オリエンテーション」の受講に関しましては、一時的ではございますがオンライン受講が可能となり、受講人数上限を増やして対応するようになっております。

### 【国内のPCR検査機関】

地域差はございますが、弊社所在地（ケソン市）では、指定病院、町の診療所を含めPCR検査手続きは可能です。

検査から結果通知までの日数は、検査方法により異なりますが、2日～7日程度となります。

PCR検査費用に関しましては、1人あたり6,000ペソ～10,000ペソの費用が掛かります。

### 【航空会社（マニラ発）10月13日現在】

JAL、ANA、PALを中心に、日本の主要空港までは毎日各社1便ずつ運航されています。

セブパシフィック航空は11月より週2便で運航予定のようです。

今後は、入国緩和条件等で増えてくると思っております。

## ～送り出し機関としての出国手続き及び対応について～

弊社では、現在入国待ちとなっている技能実習生及び特定技能者に対し、既に日本語研修を終えた者、もしくは2・3号生や特定技能者の免除対象者、在留期間中の一時帰国者、在留資格認定証明書が発行されている者に対し、第一時 PCR 検査を実施致します。

第一時 PCR 検査結果で陰性と判断された者に対し、出国プロセスの準備を進めて参ります。

陽性と判断された者は、医師の判断を元に必要な手続き及び治療に関するサポート継続し、時期を見て PCR 再検査をするようになります。

第一時 PCR 検査結果で陰性と判断された者は少人数に分け、各グループが接触しないように管理していきます。

出国プロセスの手続きは、弊社にて代行申請及びオンラインでの本人受講が可能となりますので、出国プロセス手続きが完了した者から、航空チケット手配と共に第二時 PCR 検査 (72 時間以内)を実施致します。

第二時 PCR 検査結果待機中の宿泊先施設の提供、食事の提供、待機期間中の衛生管理、室内消毒及び濃厚接触の監視等の感染予防を徹底します。

第二時 PCR 検査結果で陰性と判断された者については、弊社出国オリエンテーションを実施した後に予定通り空港まで送迎をします。

検査結果で陽性と判断された者が 1 人でも出た場合、所属するグループの全員が医師の判断を元に必要な手続き及び治療に関するサポート継続し、時期を見て PCR 再検査を実施し、陰性判断結果がでるまで弊社出国オリエンテーションは受けられません。

また、フィリピン国政府認定送り出し機関として、新型コロナウイルス感染症に対するガイドラインを遵守した運営及び管理をする必要がございますので、下記留意事項をご承諾いただく必要がございます。

### 【留意事項】

1. 各手続中の待機場所や宿泊施設は、濃厚接触を避けソーシャルディスタンスを確保するために、1 グループの最大人数は 5 名前後とします。
2. 第二時 PCR 検査結果でグループ内から 1 人でも陽性と判断された場合、該当グループ全員が再検査対象となります。
3. 第一時、第二時の結果で陽性と判断された者の中で、医師の判断で重症もしくは不適合者と判断された場合には、医師の判断、家族等の判断により出国手続きが大幅に遅れるもしくは、キャンセルになる可能性がございます。
4. 日本国内の入国規制条件(1日の入国上限/〇〇人まで等)により、航空チケット取得が困難になる、または航空チケット単価が、著しく高くなる可能性がございます。

弊社本社（ケソン市）では、新型コロナウイルス感染症によるロックダウン（2020年3月）以降は現地業務を縮小し、日本国内でのサポート業務を拡大してきました。

従業員、日本語学校講師等の人員削減をし、本社ビルへの入場制限をしてきたこともあり、本社での新規感染者はゼロを保っております。

今回の出国プロセスを進めるにあたり、今後も感染者を出さないために十分に配慮して進めさせていただきますので、ご協力とご理解のほど宜しくお願い致します。

弊社としましても、POEA を含む関係機関の通常再開を強く望み、いち早く日本企業様及び監理団体様へ安心して人材を送り出せるようになる事を願っております。

また、引き続き正確な情報をお伝えするべく、様々な形式で情報を発信するように努めて参ります。

Wonderful International Services, Inc.  
代表取締役 鈴木 エストレーラ

鈴木 昭